

でいます。

こうした事業は、財政負担の平準化や世代間の負担の公平化などの観点から、その事業費の多くを借入金（市債）によって賄い、その後「公債費」として毎年返済しています。（家計に例えるなら、新たに家を購入する際に、その全額を一括で払えない場合、銀行などから資金を借り入れ、「住宅ローン」を組んで、その後、一定額を毎年返済していくようなイメージです。）

本市では、これまでに借り入れをした市債のほか、前述の大規模な事業にかかる公債費として、概算ですが、今年度（令和5年度/2023年度）から10年間、平均で1年あたり約41億円の返済を見込んでいます。（これは、昨年度（令和4年度/2022年度）までの10年間の平均（1年あたり約42億円）とほぼ同額となります。）

このほかにも、道路や公園、橋りょうなどの社会基盤となる施設の整備等も継続的に行っていく必

要があります。さらに、既存施設の老朽化なども進んでおり、この先10年以内に何らかの形で整備（改修や建て替え）等を検討しなければならない施設や事業などがあり、これらを加えると、将来にわたって大きな財政負担が生じることになります。



越谷サンシティ ホール棟



越谷サンシティ 商業棟

東埼玉資源環境組合議会 行政調査報告

7月20日、21日、東埼玉資源環境組合議会常任委員会合同行政調査で長野県佐久市・北佐久郡環境施設組合及び東京都日野市に行ってきました。

7月20日
佐久市・北佐久郡環境施設組合
「佐久平クリーンセンター」

○廃棄物処理施設の運営について

「佐久平クリーンセンター」は令和2年12月に運転が開始された施設です。安定燃焼を実現するストーカ式焼却炉を採用しています。また事業方式をDBO（公設民営）方式で行い、運営委託先の遠隔サポートセンターの活用により、ごみの質や量に応じた最適燃焼状況を維持し、資源循環型社会の形成や環境保全に万全を期した施設でした。



佐久平クリーンセンター内の
見学・学習コーナー



「佐久平クリーンセンター」にて
福田晃市長、菊地慶太草加市議
とともに

7月21日
東京都日野市
「日野市クリーンセンター プラスチック類
資源化施設」

○ごみ減量・資源化の取り組み及び 廃棄物処理施設の運営について

日野市では平成12年、「ごみ改革」として指定袋の有料化と戸別収集を開始し、家庭ごみの排出量の半減を実現しました。令和2年から「第二次ごみ改革」としてプラスチック類の資源化施設を整備し、家庭からのプラスチック製容器包装や製品プラスチック類（一部資源化不可のものを除く）の分別・収集を開始しました。これらの取り組みにより、日野市は政府からSDGs未来都市に選定されました。



日野市クリーンセンター
プラスチックごみのパール

※私は、今回の調査を通して、ごみの減量化や資源循環社会などの今後の具体的な課題を捉えることができました。東埼玉資源環境組合は5市1町で構成され、可燃ごみ以外のごみの分別等に違いもあり、各自治体の事情を考慮して調整を図ることも必要になってくると考えます。今後も限りある資源を循環させ、持続可能な社会実現に向けて取り組んでまいります。

越谷市議会議員 越谷市宮本町1-66-4 越谷ニューライフ205号

ごとう孝江

活動報告 2023年夏 ● 第81号

立秋を過ぎても、連日相変わらずの猛暑が続いて
おりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

先ずは、6月2日、3日の令和5年台風2号に
伴う大雨により被害に遭われた皆さまに、心から
お見舞いを申し上げます。

さて、4月に施行されました越谷市議会議員選挙
では、皆さまからの力強いご支援により、おかげさ
まで市議会議員7期目をいただき、現在、議会運営委
員会委員、総務常任委員会委員、東埼玉資源環境
組合議会議員を仰せつかっています。

また、市議会では立憲民主党公認3名で新会派「立憲民主
党越谷市議団」を結成し、私は会派代表として今期の議会活動
を開始いたしました。

私は、『ぬくもりある越谷』をモットーに、直面する少子超高
齢化及び人口減少社会への対応、市民サービスの拡充、地域
活性化、そして激甚化する災害対策の充実など、多くの課題に



出羽地区納涼花火大会2023(出羽公園)

これまで以上に取り組む覚悟
でございます。さらに行政の
チェック機能としての役割を
果たしながら、福田晃市長が目指す『いのちと暮らしを守る』
『子どもが輝く社会』『越谷の未来を創る』を確固たるものと
するため、積極的な政策提言と活動に邁進してまいりますので、
ご支援とご協力をお願い申し上げます。

時節柄、いっそうのご自愛のほどお祈り申し上げます。



所属委員会等

- *議会運営委員会委員
- *総務常任委員会委員
- *東埼玉資源環境組合議会議員



立憲民主党越谷市議団 福田晃市長と議場にて

市議会議員
ごとう孝江

連絡先

連絡先

〒343-0806 越谷市宮本町1-66-4越谷ニューライフ205号
TEL・FAX 048-966-5088



ホームページのアドレスは <https://takae510.jp>

議会報告

6 月定例会

令和 5 年 6 月定例会は 6 月 8 日に開会し、市長提出議案 19 件が上程され、すべて同意、承認、可決され 27 日に閉会いたしました。

主な議案

○越谷市監査委員の選任について

井上 茂平氏

○越谷市公平委員会委員の選任について

澤田 裕二氏

○議決事項の一部変更について

(市役所新庁舎建設工事(建築) 請負契約の締結)

令和 4 年 4 月臨時会にて議決した当契約の締結について、鋼材類の著しい価格高騰に伴い、契約金額を変更するものです。

対象工事は(仮称) 市民協働ゾーンの建設分。既に引渡しを受けている新本庁舎は対象外です。

変更前：	変更後：
56 億 2,948 万円	⇒ 56 億 6,618 万 7,000 円 (+ 3,670 万 7,000 円)

○公園整備工事((仮称) 西大袋第1号公園)

二期工事請負契約の締結について

- ・契約金額 2 億 8,600 万円
- ・履行期限 令和 6 年 3 月 15 日
- ・契約の相手方 株式会社鈴木組
- ・工事概要 園路広場整備、サービス施設整備、建築施設組立設置、他

○財産の取得について

- ・学校給食配送車 2 台
(第 2 給食センター配送車 2 台の更新)
- ・取得価格 1,868 万 9,000 円

○越谷市災害見舞金等支給条例の一部改正について

令和 5 年台風 2 号による被害状況等を鑑み、今回の被災者に対する災害見舞金の額を増額します。

・改正内容	住居の床上浸水(1 世帯につき) 30,000 円 ⇒ 40,000 円
・対 象 者	災害発生時において越谷市に 住民登録を有し、居住している方

○令和 5 年度 6 月補正予算について

補正額	一般会計	7 億 8,600 万円
補正後の予算総額		1,972 億 1,030 万円

○越谷市立大袋小学校外構等改修工事

請負契約の締結について

- ・契約金額 2 億 3,298 万円
- ・履行期限 令和 6 年 3 月 15 日
- ・契約の相手方 高元建設株式会社
- ・工事概要 プール及び付属棟解体、既存外構等解体、既存樹木伐採根、囲障等外構、舗装・造成、防球ネット設置、防火水槽設置、他

越谷市では、天候や熱中症、指導体制など水泳授業の課題や今後の授業のあり方について令和 5 年度から検討を開始し、令和 7 年度を目途に方向性を決定する検討が進められてきました。そこで、大袋小学校のプール解体に伴い、モデル事業として令和 6 年度の民営プールの活用による授業を実施、来年 4 月以降にその実施内容等について、児童保護者向けの説明会を開催することです。



大袋小学校水泳授業



大袋小学校プール清掃の様子

【補正予算の骨子】

- 歳入
- ・新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金等の追加
 - ・財政調整基金繰入金の追加
- 歳出
- ・新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金を活用した事業
 - ・子育てファミリー応援給付金の追加
 - ・新型コロナウイルスワクチン個別接種 促進支援金の追加
 - ・台風 2 号に伴う災害見舞金

請願についての報告

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針(仮称) の決定の件

請願の要旨 今後のサンシティのあり方については、南越谷地区のにぎわい創出に十分配慮した上で、(1)市長は、地方自治法第 138 条の 4 第 3 項に基づく附属機関を設置、諮問し「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針(仮称)」を策定すること。
(2)「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針(仮称)」は、地方自治法第 96 条第 2 項の規定に基づく条例を制定し、議会の議決事項とし、市全体の方針として推進すること。
(請願原文より)

本請願は、5 月に福田市長から表明された「越谷サンシティ整備基本計画の一部見直し」を受けて、提出されたものです。

＜計画の見直しについて＞

現行の計画では、イベントホールなどを含む公共施設と商業施設からなる現在のサンシティの「建物すべて」を解体・撤去し、その後、約 20,000㎡の敷地に、市が公共施設を建設し、余剰地(約 6,000㎡～8,000㎡)に、民間事業者が民間収益施設を整備・運営することとしていました。

見直し後の計画は、商業施設のみを解体・撤去し、公共施設については、「建て替え」ではなく「リノベーション(既存施設の大規模改修)」により整備を進め、余剰地(約 8,000㎡)については、現行の計画と変更なく、民間事業者が民間収益施設を整備・運営するというものです。

市は、現行の計画に基づき「建物すべて」を建て替える場合の市の負担する初期費用を、概算で約 320 億円と見込んでいましたが、この見直しにより、約 150 億円に抑えられる見込みとのことです。

この判断に至った理由として、「市立病院(1976 年開院)をはじめ、小中学校、学校給食センター、保育所など、ほぼ同時期に建設し、少なくともこの先 10 年以内には、何らかの形で整備等に着手しなければならない施設が多く存在し、大きな財政負担を生じさせることに強い危機感を持っており、このような状況などを総合的に勘案した」とのことです。

＜採決＞

私をはじめ私の所属する会派では、請願者の思いを尊重しながらも、以下の主な理由により本請願に反対をいたしました。採決の結果、本請願は賛成多数により採択されました。

＜反対の理由＞

・見直し案は、南越谷地区のにぎわいを創出する当初の大きな目的が欠如しているとされていますが、請願の内容や参考人・紹介議員の答弁から、どのような観点から欠如しているのか明確ではないこと。

・このたびの見直しの主な要因は、今後の市の負担を考慮したもので、公債費の見直しを含め、市の財政状況を明らかにした上で、今回の方針見直しに至っている説明をきちんとしており、経緯や検証内容が不透明にはあたらないこと。

・見直し案が一方的な発表とされていますが、これは地元商店会や自治会、利用団体の方への相談がなかったことと推察しますが、サンシティ施設は市民の皆さまの税金によって運営される、すべての市民のための施設であり、市の考えが等しく伝わる方法による発表は当然であること。

・議会の議決事項にすることについて、「今後の越谷サンシティのあり方に関する方針(仮称)」だけを捉えて拙速に結論を出すことは適切でなく、他の行政計画への影響などさまざまな角度から時間をかけて検討する必要があること。

・請願が採択された場合、再整備の着手まで相当の期間を要することが想定されます。その間にも施設の老朽化は進み、例えば突然の機器類の停止といった事態も考えられ、利用者やテナントに与える影響を含め、甚大なりスクとなること。

＜請願の結果から＞

この請願の採択を受けて、サンシティ整備は大幅に遅れることになると考えられます。事業を進めるにあたって今後も困難な事案がないとも限りません。皆さまのご意見等もお聞きしながら、しっかりと進捗状況等を注視しながら提言等をしてまいります。

(※) 今後の本市の財政負担について〔市ホームページから転載〕

本市では近年、新本庁舎や保健センターなどの整備を行ったほか、現在は(仮称) 緑の森公園保育所や(仮称) 地域スポーツセンターの整備などを進めています。さらに、今年度からは、小中一貫校整備事業や小中学校屋内体育施設空調設備の設置、大袋地区センターの建て替え等に本格的に着手するなど、多くの大規模な事業に取り組ん